

困難な問題を抱える女性への支援事業【福岡県】

個別事業費	8,587 千円
交付金額	6,037 千円

地域の実情と課題

- 生活環境の変化による社会とのつながりの希薄化、女性が多い非正規労働者の不安定な経済状況、DV被害の増加や深刻化など、女性を取り巻く問題は多様化・複合化し、困難や不安が増大している。
- また、困難や不安を抱えながらも自ら支援を求めない女性も多く、様々な専門機関の支援が届きにくい状況となっている。

事業の特徴

- NPO等とのネットワークを活用した子ども食堂・フードバンク等での声かけや相談支援を実施。
- 女性支援に携わるNPO等で構成する「福岡県女性支援団体ネットワーク」を設置し、それぞれの強みを活かした支援を行えるよう、同ネットワーク会員向けに研修会を実施した。

事業の効果

- 心に深刻な問題を抱える女性に対する相談を180回以上実施するなどし、次の専門機関への支援につないだ事例も見られた。
- 職員向け研修会は、全6回実施し、職員のスキルアップにつながったほか、NPO同士の情報共有の場にもなった。

目的・目標

【目的】

- 様々な困難や不安を抱える女性に対し、NPO等民間団体の知見や能力を活用し、安心して相談できる場所を提供するとともに、就労支援や生活支援等を行う専門機関へつなぐ。
- 特に、心に深刻な問題を抱える女性に対して、公認心理師等がメンタルケアを行う。
- 女性支援に携わるNPO等の職員向けの研修会を実施し、女性支援人材育成を行う。

【目標】

- ・街頭・こども食堂等での声掛け 目標24回 → 結果32回
- ・公認心理師等による出張相談等の実施 目標120回 → 結果185回
- ・NPO等職員向け研修会のべ受講人数 目標60人 → 結果265人

連携団体

福岡県女性支援団体ネットワーク(R7.3.31現在、30団体が加入)

今後の課題

- 女性支援に関する相談内容の多様化、複合化に対応するためには、民間団体と自治体とのさらなる連携・協力が必要不可欠であり、官民間わす情報共有を行ったり、職員のスキルアップを行う研修等の機会を拡充するための財源確保が必要。

困難な問題を抱える女性への支援

様々な困難や不安を抱える女性が孤立せず、必要な支援に結びつけられるよう、NPO等民間団体の知見や能力を活用したきめ細かい支援を実施。

①アウトリーチ型相談支援

- ・子ども食堂・フードバンク等での声掛け、電話・メールやSNSによる相談支援、面談、就労支援や生活支援等を行う専門機関へのつなぎ・同行支援等を実施する。
- ・公認心理師又は臨床心理士が子ども食堂や大学などに出向いての出張相談、ウェブ個別相談を実施し、心理的なトラウマや精神的な不調を抱えている女性の心のケアを図る。



相談支援の様子



相談窓口周知チラシ

②NPO等職員向け研修会

- ・女性支援に携わるNPO等の職員向けの研修会を実施し、女性支援人材育成を行う。